

*startia*holdings



*startia*lab



*startia*asia



*startia*



*startia*raise



*startia*will



2018年3月期  
**Business  
Report**

2017.4.1→2018.3.31

*startia*holdings

最先端を、人間らしく。

証券コード:3393

2018年4月1日、スターティアは持株会社体制に移行し、「スターティアホールディングス」として新たに歩み始めています。

## ITを通して社会に貢献する

日々、変化を続けるIT業界において、最新の技術動向を見据えた迅速な意思決定と機動力を発揮できる経営の実現に向けて、持株会社と事業会社から成る持株会社体制に移行しました。

私たちは「スターティアホールディングス」として、ITを通して様々な社会課題を解決し、社会貢献を果たす組織を目指していきます。

### 🛡️ 経営理念

社会のニーズとマーケットを見極め、人と企業の未来を創造し、優れた事業と人材を輩出するリーディングカンパニーを目指す。

### 🏔️ ビジョン

顧客に愛され、社会に貢献し、自ら永続的に進化し続けるITグローバル企業を目指す。

### 🏢 グループ成長戦略

当グループおよび社会の持続的成長を目指す



迅速な事業運営により、  
事業環境の変化にも柔軟に対応できるスピーディーな経営を実現



#### 持株会社

スターティアグループとしての全体戦略を考え、事業ポートフォリオの最適化、グループ全体のコーポレート・ガバナンス体制の強化、経営資源の適正配分を機動的に実施し、持続的な企業価値の向上を目指す

#### 事業会社

それぞれの事業領域において事業規模の拡大、収益力の強化、経営人材の育成を行う

# スターティアグループ

スターティアグループでは「ITインフラ」「デジタルマーケティング」「クラウドストレージ」の3領域を中心に、多様な事業を展開しています。

**startiaholdings**

スターティアホールディングス株式会社

グループ全社の経営管理を行う

スターティアグループの全体戦略を考え、事業ポートフォリオの最適化、グループ全体のガバナンス体制の強化、経営資源の最適な配分を実施します。

**startia**

スターティア株式会社

企業の「情報システム部門」を請け負う存在になる

情報システム部門の負担が高まっている中規模企業のお客様に、ネットワークインフラの進化と担当者のITスキルのギャップを埋めるソリューションを提供します。

**startialab**

スターティアラボ株式会社

企業の情報をITサービスで最適化し、利益を上げる

AR制作ソフト「COCOAR」をはじめ電子ブック作成ツール「ActiBook」、CMSツール「CMS BlueMonkey」などWebアプリケーションの企画・開発・販売を中心に、Webサイトのコンサルティングも行います。

**startiaraise**

スターティアレイズ株式会社

仕事と生活の質を高め、「働く人を笑顔にする」ITサービスを提供

労働生産性の向上やダイバーシティ対応として、クラウド型ストレージサービス「セキュアSAMBA」での生産性の向上や、ITソリューションサービス「RPA技術」による業務の自動化を図ります。

**startiasia**

Statia Asia Pte. Ltd.

アジア地域での事業統括および投資

「Global Gateway」を運営する上海スターティア、ソフト開発を行う西安スターティアソフト、「COCOAR」を中国向けに販売する上海巨現智能科技の3社を、シンガポールで統括。さらに、東南アジアでの投資事業も手がけます。

**startiawill**

スターティアウィル株式会社

障がい者が自立できる社会を創る

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に沿った特例子会社です。スターティアグループの業務請負のほか、障がい者雇用促進の講演会・セミナーなどの開催により、障がい者雇用のコンサルティングも行います。

**work+us**

Worktus株式会社\*

海外IT人材の育成とコンサルティング事業

国内でのIT人材の不足が課題となる中、日本語をビジネスで活用できるIT人材の育成と集客を、東南アジアを中心とした海外向けに行い、国内企業のニーズに合ったIT技術者を提供します。

\*株式会社カケハン スカイソリューションズとの合併



## TOP Interview

# 新体制を早期に軌道に乗せ、 グループ一体での企業価値向上を図ります。

2018年3月期の業績ご報告とともに、今回、新たに持株会社体制へ移行した目的と期待される成果、および今後の事業戦略などを皆様にご説明します。

スターティアホールディングス株式会社  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者

本郷 秀之 ほんごう ひでゆき

### Q 2018年3月期の連結業績を総括してください。

2018年3月期の業績は、売上高が11,058百万円(前期比7.5%増)、営業利益が358百万円(同35.1%増)、経常利益が376百万円(同31.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が613百万円と期初予想を上回る増収増益となりました。

### Q 業績が好調に推移した背景について教えてください。

デジタル化の流れが広く企業に浸透してきたなかで、当社のサービスや提案力がお客様のニーズをうまく捉えられたと考えています。特に、「デジタルマーケティング事業」では、AR制作ソフト「COCOAR(ココアル)」<sup>※1</sup>が先進的かつ機能的な販促ツールとして注目を集め、順調に伸びてきました。「ITインフラ関連事業」でも、多機能プリンタやネットワーク機器関連、Web制作などが好調でした。導入から1年が経過した「カスタマー1st」体制<sup>※2</sup>が軌道に乗ってきたことに加えて、従来から取り組んできたストック型サービスへのシフト<sup>※3</sup>も業績の底上げに寄っているとと言えます。

### Q 2018年4月1日より持株会社体制へ移行しました。その目的や体制面を説明してください。

当社グループは事業が多岐にわたっており、それぞれに求められるビジネスモデルやマネジメント、人材が異なっているため、各事業に責任と権限を与えながら、同時に全体最適を図っていくところに最大の狙いがあります。また、将来のマネジメントを担う人材育成にもつながるものと期待しています。持株会社体制の下、事業会社を6つ設立しました。新生スターティア株式会社(ITインフラ事業)、スターティアラボ株式会社(デジタルマーケティング事業)、新会社のスターティアレイズ株式会社(クラウドストレージ事業、RPA関連事業)、Startia Asia Pte.Ltd.(アジア地域の事業統括および投資事業)、特例子会社であるスターティアウィル株式会社<sup>※4</sup>のほか、新会社のWorktus株式会社(海外IT人材の育成とコンサルティング事業)を加えた体制です。スターティアレイズ株式会社では、需要が拡大しているクラウドストレージサービス<sup>※5</sup>のほか、RPA技術<sup>※6</sup>を用いた新たなサービスも手掛けており、多様な勤務形態への対応や業務効率化などを通じて、「働き方改革」への貢献も目指していきます。

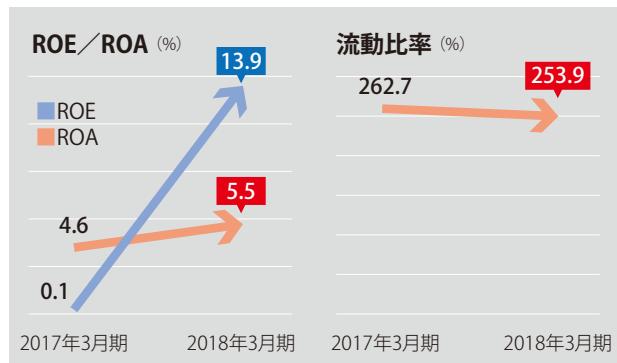
(※1) 2018年3月現在で導入事例1,550社、アプリのダウンロード数では180万を突破した。(※2) 2017年3月期より商材別から企業ごとの専任担当制へ移行した。お客様窓口を一本化し、あらゆる商材を提案する仕組みにして、お客様との関係強化や最適なソリューション提供を行うところに狙いがある。(※3) 売り切り型ではなく、継続的に収益を得られる商材を積み上げて、安定的な収益基盤の確立を目指している。(※4) 2017年8月31日付けで「障害者の雇用の促進等に関する法律」に定める「特例子会社」の認定を取得した。(※5) 新商品「セキユアSAMBA」は、社内ファイルサーバーと同じ感覚で他拠点(自宅、取引先なども含む)と安全にファイル共有できるファイルストレージ(オンラインストレージ)サービス。(※6) Robotic Process Automationの略。ロボットによる業務自動化。

## Q 持株会社体制の下、今後の成長戦略について説明してください。

「最先端を、人間らしく。」というグループスローガンの下、「カスタマー1st」による営業体制やストック型サービスをさらに強化するとともに、ARやRPA関連など新しい成長領域にも積極的に投資を行い成長スピードを加速していく方針です。特に、デジタルマーケティング分野ではARなどを通じて蓄積されるビッグデータを活かしたビジネス構想を描いています。順調に進めていけば、3年から5年先には収益構造が大きく変化し、それに伴って利益率も一気に高まっていくのではないのでしょうか。また、東アジアや東南アジアを中心とした海外展開についても、日中間の高速回線サービス「Global Gateway」などが好調ですが、新たなサービスの提供を含めて、これからは勝負どころであると捉えています。さらには国内外のベンチャー投資などを通じて、新しい技術の発掘や育成にも積極的に取り組んでいきます。

## Q 2019年3月期の連結業績の見通しはいかがですか？

2019年3月期は、売上高12,160百万円(前期比10.0%増)、営業利益325百万円(同9.3%減)、経常利益325百万円(同13.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益178百万円(同71.0%



減)を見込んでいます。持株会社化に伴う初期費用や将来に向けた先行投資負担が想定されるものの、売上高の伸びで吸収していく方針です。

## Q 株主還元の考え方について教えてください。

2018年3月期は記念配当3円を含めて年間12円(中間3円、期末9円)の配当を実施しました。2019年3月期は年間9円(中間3円、期末6円)の配当を予定しており、記念配当を除けば前期と同額です。当社では株主の皆様への利益還元を経営の重要な政策のひとつと位置づけ、今後も長期的に安定した配当を行っていく方針でございます。

## Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

外部環境の追い風を受けて、当社グループの成長戦略も着実に成果に結び付いてきました。これからも成長加速に向けて、新体制を早期に軌道に乗せるとともに、事業ポートフォリオの最適化、コーポレート・ガバナンス体制の強化などに取り組み、グループ一体となった企業価値向上を図っていきます。しばらくは、さらなる飛躍のための投資期間と位置付けており、株主の皆様にはぜひとも中長期的な視点からご支援を頂きたく、よろしく願い申し上げます。

2018年6月



新たなグループ経営体制のもとで、事業規模の拡大に努めます。

## 新サービス「ビジ助」の提供を開始

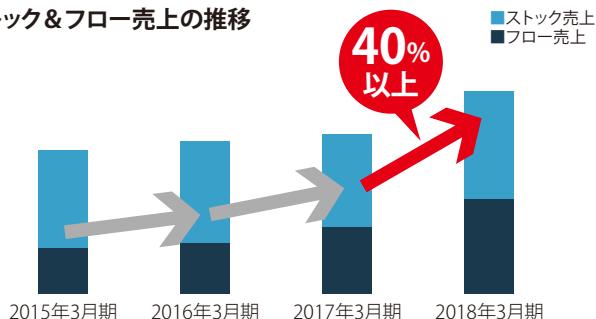
ビジネスに役立つサービス全21種(2018年5月末現在)を月額5,800円(税別)で提供するトータルサポートサービス「ビジ助」を2018年1月から展開中です。困ったときに相談できる「PCサポート」、コスト削減に役立つ「お安くビジ助(オフィス用品・コピー用紙)」、標的型攻撃メール対策の「セキュリティテスト」など多様なサービスを一括で提供し、お客様との関係構築の強化を図ります。最新のサービスやお役立ち情報を、コミュニティサイト「ビジ助チャンネル」(<https://bizisuke.jp>)で更新しています。



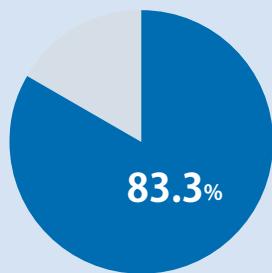
## 「リカーリングモデル」への転換を推進

大手SI企業が参入しづらい中堅・中小企業を中心に事業を展開し、この規模のお客様が求める細やかな対応や課題の積み上げを行うため、お客様ごとに専任担当者が付く「カスタマー1st」体制に基づくサービスの提供を行っています。当社は数年前より、中堅・中小企業のお客様に特化して継続的・安定的な収益を生むストック型の「リカーリングモデル」への転換を行い、2017年3月期からは40%以上の売上比率を更新中です。今後もより強固な顧客基盤の構築により、安定した収益モデルを推進していきます。

## ストック&amp;フロー売上の推移

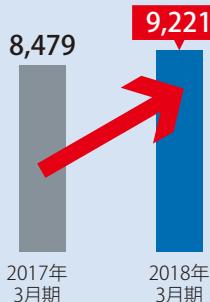


## ITインフラ関連事業実績



売上高  
**9,221**百万円  
(前年比**8.7%** ↑)

セグメント利益  
**305**百万円  
(前年比**1.0%** ↓)



前連結会計年度より導入した「カスタマー1st」が定着し、顧客の要望や課題解決の手法が根付き始めました。

また、当連結会計年度より開始した新サービス「ビジ助」の積極的な展開も功を奏した結果、ITインフラ関連事業の当連結会計年度における業績は、売上高9,221百万円(前期比8.7%増)、セグメント利益305百万円(前期比1.0%減)となりました。

## より強力な「COCOAR2」で導入が加速

AR制作ソフト「COCOAR」は、場所・期間・時間帯ごとに表示されるコンテンツを設定できたり、動的3Dコンテンツに対応するなど、機能の拡充とともに導入実例が加速しています。「COCOAR」からの累積で導入済みの企業は、2018年3月末現在で1,550社、180万以上のダウンロードを記録し、企業のほか官公庁・団体・学校も含め、幅広い分野において販促・集客・情報配信などでの活用が拡大しています。



日付



時間



場所 (GPS)



## 「フリーミアムモデル」の提供ソフトを拡大

販売拡大戦略として「フリーミアムモデル」の導入を開始しました。「フリーミアム」とは基本的なサービスを無料で提供し、それを超えるサービスや高度な機能に対して課金する仕組みで、お客様にコストを気にせず導入していただけるメリットがあります。現在、マーケティングオートメーションツール「BowNow (バウナウ)」、スマホ用ランディングページ制作ソフト「creca (クリカ)」、販促アプリ作成ツール「AppGoose (アップグース)」においてフリープランを提供中で、今後も導入ソフトを拡大していきます。



マーケティングオートメーションツール

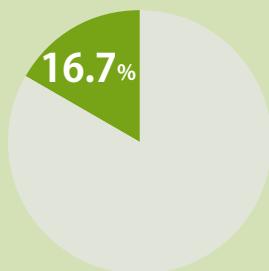


スマホ用ランディングページ制作ソフト



販促アプリ作成ツール

## デジタルマーケティング関連事業実績



売上高

1,835百万円  
(前年比1.8% ↑)

セグメント利益

101百万円

※前期はセグメント損失  
2百万円

1,802

2017年  
3月期

1,835

2018年  
3月期

アーリーアダプター層への販売が落ち着き、マジョリティー層に対する拡販を進めていくなかでフリーミアムモデルを導入、フリープランの受付を開始しました。

また、コンサルティングなどトータルソリューションを顧客へ提供することで事業の収益性を改善、ストック収益が堅調に推移した結果、デジタルマーケティング関連事業の当連結会計年度における業績は、売上高1,835百万円(前期比1.8%増)、セグメント利益(営業利益)101百万円(前期はセグメント損失2百万円)となりました。

## スターティアグループにおける、この一年間の主な取り組みをご紹介します。

2017年9月

startia



### 企業の社員が社名を背負って麻雀の腕を競い合う「麻雀企業対抗戦」に参戦

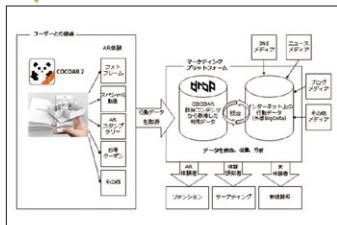
スターティア株式会社が2017年9月3日開催の「麻雀企業対抗戦」に参戦しました。

今回の参加企業は、サイバーエージェント、クレディセゾン、博報堂、講談社、大日本印刷、セガ・インタラクティブ、ディー・エヌ・エーと当社の8社。当社は2017年度「麻雀採用\*」入社の新入社員2名を加えたメンバーで挑み、優勝を果たしました。

※採用における選考方法のひとつで、麻雀の勝負で上位の学生は面接フローが免除される。マネジメント力や決断力を見極めるのに麻雀は親和性が高いと考え、2017年度新卒採用から当社単独で取り入れている。

2017年10月

startialab



### オプトとワン・トゥー・テン・ドライブの「drop」に「COCOAR2」が採用

スターティアラボが手がける「COCOAR2」が「drop: Phygital Marketing Lab\*」に採用されました。今回のプラットフォームでは、「COCOAR2」で取得した情報とインターネット上の外部データを統合。情報を収集・分析し、ARコンテンツでデジタルとリアルをつなぐマーケティングを実現させます。スターティアラボでは本サービスを「COCOAR CONNECT」として提供し、他企業との連携を進めて新たなソリューションの構築・提供を目指します。

※IoT/AI/VRなどの未来技術を取り入れた、モノやサービスのプロトタイプ開発を得意とするワン・トゥー・テン・ドライブと、デジタルマーケティング分野を得意とするオプトが、リアルとデジタルが連動した体験を研究開発・提供するプロジェクト。フィジカル (Phygital) = 物質的 (Physical) とデジタル (Digital) を組み合わせた造語。

2017年10月

startiasia



### 日本・中国間のクラウド環境を高速に接続する国際通信サービスを開始

上海スターティアは、日本と中国のAWSなどのクラウド環境を高速かつセキュアに利用できる国際通信サービス「Global Gateway for AWS」の提供を開始しました。

上海スターティアと中国大手通信会社の代理店である上海暢曉信息科技有限公司が業務提携し、双方の強みを生かして、日本・中国間のクラウド環境を高速に接続して利用することが可能となる「Global Gateway for AWS」を開発。グローバル企業や中国向けゲームアプリを提供するゲーム会社などを中心に展開し、2020年までに約300社の利用を見込みます。

2017年12月

startiaraise



### 韓国のサイバーダイム社と、法人向けクラウドストレージ「セキュア SAMBA」において業務提携

スターティア株式会社は、法人向けクラウドストレージ「セキュア SAMBA」のセキュリティ機能向上による販売領域の拡大を目的に、文書管理システムの開発を手掛ける韓国のサイバーダイム株式会社と業務提携しました。サイバーダイム社の文書ファイル専用クラウドファイルサーバ「cloudiumFS」を日本国内で独占販売する権利を取得、「セキュア SAMBA Pro」として2018年1月から販売を始めました。

なお、当社が同年4月に持株会社体制へ移行したことに伴い、現在はスターティアレイズ株式会社が提供しています。

経営理念「社会のニーズとマーケットを見極め、人と企業の未来を創造し、優れた事業と人材を輩出するリーディングカンパニーを目指す」の実現を目指し、ステークホルダーと共にCSR活動に取り組んでいます。



## 起業家支援・地域活性化



当社代表・本郷の出身地である熊本県の商工観光労働部産業支援課と協働し、熊本県内の起業家に向けた取り組みを支援しています。2017年3月の講演会では

起業家に向けて株式上場までの仕組みや考え方を、2018年1月の講演会では、日本とアメリカの最新のIPOや自身の経験談をもとにして企業が成長するためのノウハウをレクチャーしました。今後も熊本県の地域振興支援に取り組んでいきます。



## 障がい者支援



企業理念「人と企業の未来を創造」に立脚し、当社代表・本郷は障がい者の自立と社会参加を支援しています。支援活動の一環として、発達障害の早期療育施設

「こころとことばの教室こっこ」の運営や保育園・幼稚園への巡回支援や、児童発達支援事業のコンサルティングなどを手掛ける『NPO法人の発達わんぱく会』への助言を行っています。



NPO法人  
発達わんぱく会

NPO法人の発達わんぱく会

<http://www.wanpaku.org/index.html>



## 女性活躍推進



結婚・出産・育児などのライフイベントとキャリアの両立を目指す女性従業員の活躍を支援する取り組みを行っています。

2010年にスターティア女子委員会(ス

タ女)を発足。スタ女は公募・推薦により構成され、結婚、出産後も女性が働きやすい職場環境の設備、女性管理職の増大を目的に結成、継続して活動しています。マタニティ休暇制度や婦人科検診補助制度を始めたほか、保育補助手当や最大3年の育児休業などの制度が動き出しています。



## 開発途上国への支援



スターティアグループでは、アジアを中心にグローバルに事業展開していくため、日本国内だけではなく、海外に対する支援にも取り組んでいます。

2013年にはカンボジアへ視察、2014年には開発途上国の人々の自立と発展を目指して活動している民間の公益財団法人国際開発救済財団の支援として寄付を実施しました。

# 業績ハイライト／連結財務諸表

## 売上高 (百万円)

前期比7.5%増、過去最高の売上高を達成



## 経常利益 (百万円)

主力事業が堅調に推移し、前期比31.9%増



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

繰延税金資産の計上および投資有価証券の売却益が寄与、大幅に増加。

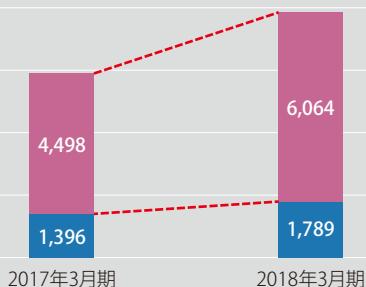


## 連結貸借対照表 (百万円)

資産合計

流動資産

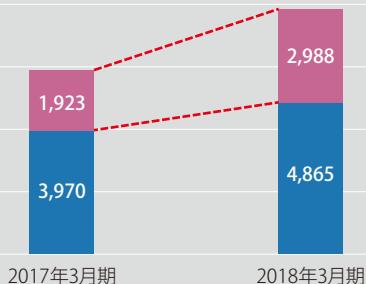
固定資産



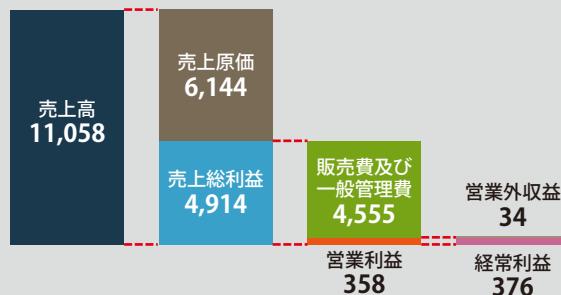
負債および資本合計

負債合計

純資産



## 連結損益計算書 (百万円)



## 連結キャッシュフロー計算書 (百万円)



## 会社概要 (2018年3月31日時点)

商号	スターティアホールディングス株式会社 (英文名称: Startia Holdings, Inc.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階
事業内容	グループ会社の経営管理等
設立	1996年2月21日 2018年4月1日「スターティア株式会社」より 商号変更
資本金	824,315千円
従業員数(連結)	589名
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:3393)

## スターティアグループ企業一覧 (2018年4月1日時点)

連結対象子会社 12社	スターティア株式会社/スターティアラボ株式会社/ スターティアレイズ株式会社/Startia Asia Pte.Ltd./ スターティアウィル株式会社/Worktus株式会社/ ビーシーメディア株式会社/株式会社エヌオーエス/ Mtame株式会社/上海思達典雅信息系统有限公司/ 台湾思達典雅股份有限公司/上海巨现智能科技有限公司
持分法適用関連会社 4社	株式会社MACオフィス/株式会社アーバンプラン/ 株式会社クロスチェック/西安思达典雅软件有限公司

## 役員一覧 (2018年6月20日時点)

代表取締役社長 兼 最高経営責任者	本郷 秀之
取締役 兼 執行役員 管理本部長	植松 崇夫
社外取締役	鈴木 良之
社外取締役	鷹松 弘章
社外監査役	荒井 道夫
社外監査役	郷農 潤子
監査役	松永 暁太

## 株式の状況 (2018年3月31日時点)

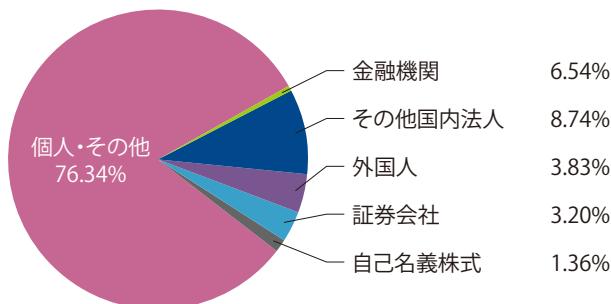
発行可能株式総数	35,200,000株
発行済株式数	10,240,400
株主数	3,053名

## 大株主の状況 (2018年3月31日時点)

株主名	所有株式数(株)	持株比率
本郷 秀之	4,451,600	44.07%
株式会社光通信	881,300	8.72%
財賀 明	499,600	4.95%
スターティア従業員持株会	285,864	2.83%
古川 征且	272,600	2.70%
源内 悟	246,400	2.44%
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	190,500	1.89%
日本証券金融株式会社	112,000	1.11%
UBS AG LONDON ASIA EQUITIES	87,100	0.86%
株式会社SBI証券	85,000	0.84%

※持株比率は、自己株式(139,036株)を控除して計算しております。

## 株主分布状況 (2018年3月31日時点)



## IRサイトのご案内

さらに詳しいIR情報は当社のWebサイトから  
ご覧いただけます。

<https://www.startiaholdings.com/ir.html>



## IRメール配信のご案内

登録いただいた皆様にプレスリリース、決算情報など、IRに関する  
新着情報をメールにてお届けしています(無料)。ご希望の方は、  
以下のURLもしくはQRコードよりお手続き下さい。

**【ご登録はこちらから】**

<https://www.startiaholdings.com/ir/irmail.html>



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
配当金	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株式名義書換	株主名簿管理人 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	<a href="https://www.startiaholdings.com/ir/financial/e_publicnotice.html">https://www.startiaholdings.com/ir/financial/e_publicnotice.html</a>

## 本ビジネスレポートに関するお問い合わせ先

スターティアホールディングス株式会社 IR窓口  
〒163-0919 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス19F  
TEL 03-5339-2109(平日9時~18時) MAIL [ir@startiaholdings.com](mailto:ir@startiaholdings.com)  
IR情報ホームページ <https://www.startiaholdings.com/ir.html>

